





## 石造総願寺跡宝塔



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	せきぞうそうがんにあとうとう
所在地	倉敷市児島下之町
指定年月日	昭和33年4月10日
解説	花崗岩製で、総高2.8mを測る石塔で、塔身の隅に建仁3年(1203)の銘があることから、鎌倉時代初期の造立である。方柱状の塔身の上に大きな屋蓋[おくがい]をかけ、さらにその上に太い相輪を置いている。塔身には正面(南)に多宝と釈迦の二仏、東に阿弥陀仏、北に不動明王、西に弥勒仏らしい坐像が彫刻されており、鎌倉時代の在銘の石造宝塔の中で全国的にも古く、様式的にも鎌倉時代初期の基準作例として、きわめて重要である。
アクセス方法	
公開状況	
設備	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>駐車場 </p> <p>障害者用駐車場 </p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレ </p> <p>障害者用トイレ </p> </div> </div>
備考	